

山口新聞

平成28年4月29日(金)

NO.200

農地・水・環境

守ろう地域の手に



200

山口市の北西部に位置する吉敷畑地区は西鳳凰山麓に農家が点在し、米を中心に麦、そば、葉野菜などを栽培する純農村地域。国道435号のおかげで市街地に近接している。

2009年度から多面的機能支払制度に取り組み、農道、水路の保全や農地の面の雑草対策などを行っている。最近では集落の山沿いにサ

ルが出没し始め、イノシシに加え、獣害にも頭を悩ませている状況。

獣害防止柵を修理する会



当会を中心に一致団結し、山積している課題解決に努め、ふるさとの農地をより良い形で後世につなげていきたいと考えている。

近年、吉敷畑の景観形成と都市住民へのアピールのために、道沿いの農地の面にシバザクラを植え始めたところであり、毎年春を迎えるのが楽しみとなっている。

乞うご期待♪

(庶務、内藤光太)

|| 金曜日掲載 ||

【メモ】代表 || 小林松

▽ 会員 || 22人、農家 (18

戸)、非農家 吉敷畑自治会

▽ 設立 || 2009年

3月31日 | 連絡先 || 山口

市吉敷472の3、内藤

光太さん、電話0833・

9270・800615

団結して農地を後世に 吉敷畑みどりを守る会(山口市)



会員の皆さん